

**① 聴性脳幹反応検査 (Auditory Brainstem Response ; ABR)**

音刺激により蝸牛神経と脳幹部聴覚路から得られる脳波を加算平均したもので、得られる反応は意識や睡眠状態の影響を受けにくく再現性のよい安定した波形が得られます。

**② 自動聴性脳幹反応検査 (Automated Auditory Brainstem Response ; 自動ABR・AABR)**

ABR をコンピューターによる自動解析する装置で、結果は「pass (パス)」あるいは「refer (要再検)」で示されます。

**③ 耳音響放射 (Otoacoustic Emission ; OAE)**

誘発耳音響放射 (TEOAE) と歪成分耳音響放射 (DPOAE) の 2 種類の検査方法があり、両方法とも、音刺激により蝸牛の外有毛細胞より放射されてくる小さな音を記録する検査です。スクリーニング用の OAE は、AABR と同様に、「pass (パス)」あるいは「refer (要再検)」で示されます。

**④ 閾値**

音刺激に対して「聞こえる」反応を示す最も小さいレベルのこと。

**⑤ 補聴器 (Hearing Aid)**

音を増幅して、音を伝える機器です。

補聴器には、箱型、耳掛け型、耳あな型、骨導補聴器、軟骨伝導補聴器など色々なタイプがあります。乳幼児の場合、耳掛け型補聴器の両耳装用を原則としています。

**⑥ 人工内耳 (Cochlear Implant)**

電極を蝸牛内に挿入し電気刺激を直接聴神経に伝える装置で、埋め込む手術が必要です。

体外に、音を電気信号に変える処理装置 (プロセッサ) が必要で、電気信号は送信コイルを通し、頭皮下に埋め込まれたインプラントに送られ、電極から電気刺激を与えます。

補聴器装用の効果が不十分な両側高度の聴覚障害があるときに適応となります。人工内耳を装用してもすぐに聞こえるわけではなく、個人差があり長期の訓練が必要です。

**⑦ 人工聴覚器**

人工内耳や残存聴力活用型人工内耳、人工中耳、埋め込み型骨導補聴器などの総称です。

**⑧ 新生児聴覚スクリーニング検査**

AABR やスクリーニング用 OAE を用いて、分娩施設で行う検査です。

**⑨ 精密聴力検査**

精密聴力検査機関で行われる検査で、ASSR や ABR、BOA、COR などの検査を組合せて行います。

**⑩ 聴性行動反応聴力検査 (Behavioral Observation Audiometry ; BOA)**

乳児期に乳幼児オーディオメータや楽器などの音を聞かせて、聴性行動反応によって聴覚障害の有無を判定する測定方法です。聴性行動反応は、生後 3 か月まではモロー反射などの原始反射が、それ以降は目を動かす、振り向く、動作の停止、微笑みなどの新しい反応形態が観察されます。

**⑪ 条件詮索反応聴力検査 (Conditioned Orientation Response Audiometry ; COR)**

音に対する探索反応や定位反射を乳幼児が喜びそうな光や人形、画像刺激を使って強化し条件付けを行い、音場によって聴力を測定する測定方法です。

**⑫ 遊戯聴力検査 (Play Audiometry ; PlayA)**

幼少児が音刺激に対して、玩具を操作することで行う測定方法です。ヘッドホンの装着を嫌がらない場合は、左右別々に閾値を求めることができます。

- 1) 「新生児聴覚スクリーニングマニュアル」一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会 福祉医療・乳幼児委員会：平成 28 年 8 月
- 2) 「宮崎県 新生児聴覚スクリーニング及び乳幼児聴覚検査・療育・教育支援マニュアル」平成 27 年 3 月
- 3) 「島根県 新生児聴覚スクリーニングと聴覚障害児支援のための手引き」平成 20 年 12 月
- 4) 「静岡県 新生児聴覚スクリーニング検査と事後対応マニュアル」平成 26 年 12 月
- 5) 「奈良県 新生児聴覚スクリーニング検査の手引き」平成 25 年 3 月

沖縄県  
新生児・乳幼児の聴覚検査ときこえの支援のための手引き

---

(2020年12月)

編集・発行：沖縄県

琉球大学病院 きこえの支援センター

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地

Tel/Fax 098-895-1739

---





沖縄県



まこえの  
支援センター